

第 35 回 バスティン教材研究会

日程	2014 年 7 月 15 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00 (エルム楽器千歳)
出席者	楠、山本、石井、 <u>西野</u> 、石山、伊藤(亜)、平緒、大塚、大畑、長谷 計 10 名
秋のコンサート について	<p>30 組程度、3 部構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレリーディング ・クラシック ・ポピュラー (アナと雪の女王のコーナーを含む) <p>※時間内であれば 2 ステージ (ソロとプレリーディングなど) でも 1 ステージ分の料金とする。</p> <p>アナと雪の女王のコーナー</p> <p>ゆきだるま作ろう (石井先生の生徒さん)</p> <p>うまれてはじめて (大塚先生、平緒先生)</p> <p>扉をあけて (杉山先生、おとき君)</p> <p>憧れの夏 (大畑先生)</p> <p>Let it go (石山先生、下谷内さん)</p> <p style="padding-left: 40px;">" 歌う (平緒先生伴奏)</p> <p>※7 月中に決まった曲を LINE にてお知らせください。</p>
弾き方ポイント	<p>グレンツェンコンクール課題曲</p> <p>幼児 B 「パソコンのうた」バスティン曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 小節ずつのフレーズ感だけでなく、4 小節でフレーズをとる ・ 5 小節目から少しパワーをおとして、最後の 2 小節は高揚して。 ・ 最後の小節は、ドソドのソをたたかないように。
	<p>1 ~ 2 年生 B 「テレビゲーム」バスティン曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 拍子の拍感を出すのに、右手と左手を同時に弾いて練習してから、バラして演奏する。拍頭を意識させる。 ・ 緊張感を持って、前に進めていくイメージで。 ・ 左手の伴奏は鍵盤からあまり離さずに、硬い音にならないように。 ・ 右手の滑りそうな音は 5、4、3、ではなく、3、2、1 を使うなど工夫する。
	<p>3 ~ 4 年生 B 「おぼけ」バスティン曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 段目は強弱のコントラストをつける (デクレッシェンドでもよいし、フォルテの後、対照的に次のフレーズをおとしても良い。) ・ 3 段目はウナコルダを使い、3 段目最後の小節の 4 分音符で外す ・ 両手合わせて和音になっているところは、響きをよく意識させる。 ・ スラーがついているところはしっかりレガートで弾く ・ 左手のラドシラソは 4 ではなく、3 の指から。

	<p>中学生A「間奏曲」ギロック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拍感をどのようにとるか(4拍子か2拍子か) ・強弱はっきり ・最後の音はウナコルダを使って柔らかく ・指を伸ばし気味で弾く ・2段目のペダルはポジション移動のため ・後半、少し急き立てられるように ・全体的に揺れ感を出すと雰囲気が出るのでは
次回の日程	<p>8月26日(火)10時～12時</p> <p>プレリーディング8月23日(土)10時～</p>